

## 企画展プレスリリース「志村ふくみ展—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に—」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
標記の件につきまして、本書のとおりご案内いたします。

### 1 展覧会名 「志村ふくみ展—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に—」

### 2 会 期 2019年4月6日(土)～6月2日(日)

休館日：月曜日

GW中〈4月27日(土)～5月6日(月)〉は無休とし、5月7日(火)は休館。

※5月7日に展示替。前期・後期でほぼすべての作品が入れ替わります。

### 3 展覧会概要 (資料2～5ページ参照)

重要無形文化財「紬織」保持者(人間国宝)である志村ふくみの作品を、出身地である滋賀県立近代美術館のコレクションを中心として約100点を展示し、初期から近年にいたる志村の芸術を辿ります。

### 4 出品作品 (資料6ページ参照)



(1)



(2)



(3)

作品名・制作年・所蔵 (図版左から)

(1)「聖堂 (ルビ：みどう)」平成元年(1989)

(2)「松風」平成15年(2003)

(3)「夕顔」平成15年(2003)

※広報用出品作品図版は7点あります。その他図版は資料6ページを参照してください。

### 5 オープニングセレモニーのご案内 (資料4ページ参照)

定員に達したため、申込受付を締切りました。

(1) 日時：4月6日(土) 9:10～9:30 (受付8:40～)

(2) 会場：2階企画展示室入口前

(3) 申込：事前申込 先着50名(来館、往復ハガキ 申込方法の詳細は4ページ参照)

(4) 締切：3月25日(月)必着

※その他イベントについては資料4～5ページを参照してください。

《問い合わせ先》茨城県近代美術館 〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1

Tel:029-243-5111 / Fax:029-243-9992 / E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

展示担当：美術課 今瀬 / 広報担当：企画普及課 河野 / イベント担当：企画普及課 平川

## 企画展プレスリリース「志村ふくみ展—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に—」

### 1 展覧会名

「志村ふくみ展—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に—」

### 2 主催等

主催：茨城県近代美術館、NHKプロモーション

特別協力：滋賀県立近代美術館

後援：水戸市、朝日新聞社水戸総局、茨城新聞社、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、日本経済新聞社水戸支局、毎日新聞社水戸支局、読売新聞水戸支局

### 3 会期

2019年4月6日(土)～6月2日(日)

休館日：月曜日

ただしゴールデンウィーク中(4月27日(土)～5月6日(月))は無休とし、5月7日(火)は休館。5月7日(火)に展示替えをし、前期・後期でほぼすべての作品が入れ替わります。

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

### 4 会場

茨城県近代美術館

### 5 入館料

一般 1,080(980)円、満70歳以上 540(490)円、高大生 850(720)円、小中生 480(360)円

※( )内は20名以上の団体料金

※障害者手帳・指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方は無料、4月20日(土)は満70歳以上の方は無料、土曜日は高校生以下無料

### 6 展覧会概要(300文字)

大正13年(1924)に滋賀県近江八幡市に生まれた志村ふくみは、戦後まだ作家として織の作品を作る人が少なかった時代に染織の道を志し、今日に至るまでひたむきに創作活動を続けてきた。平成2年(1990)には重要無形文化財「紬織」保持者(人間国宝)の認定を受け、平成27年(2015)には文化勲章を受章し、94歳となる現在も新たな制作に励んでいる。

また志村は文筆家としても活躍し、昭和58年(1983)には『一色一生』により第10回大佛(ルビ：おさらぎ)次郎賞を、平成5年(1993)には『語りかける花』で第41回日本エッセイスト・クラブ賞を受賞している。

滋賀県立近代美術館は、滋賀出身の作家である志村ふくみの作品を多数所蔵しており、本展はこのコレクションを中心とした約100点による志村ふくみの県内初となる回顧展である。(325文字)

#### 【広報文1】(約30字)

文化勲章受章者・「紬織」の人間国宝にして随筆家、志村ふくみの県内初となる回顧展。(40文字)

#### 【広報文2】(約60字)

文化勲章受章者・「紬織」の人間国宝にして随筆家、志村ふくみの芸術を約100点によりたどる県内初となる回顧展。(51文字)

#### 【広報文3】(約90字)

滋賀県出身で文化勲章受章者・「紬織」の人間国宝にして随筆家、志村ふくみの芸術を、滋賀県立近代美術館のコレクションを中心とした約100点によりたどる県内初となる回顧展。(81文字)

#### 【広報文4】(約120字)

滋賀県出身で文化勲章受章者・「紬織」の人間国宝にして随筆家である志村ふくみは、戦後から今日に至るまでひたむきに創作活動を続けてきた。本展は滋賀県立近代美術館のコレクションを中心に約100点の作品を展示し、志村の芸術をたどる県内初となる回顧展。(118文字)

## 7 展示構成と主な展示予定作品 ※出品リスト参照

### 第1章 近江八幡にて 昭和31年(1956)～42年(1967)

「方形文綴織単帯 (ルビ：ほうけいもんつづれおりひとえおび)」  
昭和32年(1957)  
「秋霞 (ルビ：あきがすみ)」昭和33年(1958)  
「鈴虫」昭和34年(1959)

### 第2章 嵯峨野Ⅰ 昭和43年(1968)～平成元年(1989)

「梶子熨斗目 (ルビ：くちなしのしめ)」昭和45年(1970)  
「色と光のこころみ」昭和49年(1974)  
「紫の壺」昭和49年(1974)  
「湖上夕照 (ルビ：こじょうせきしょう)」昭和54年(1979)  
「聖堂(ルビ：みどう)」平成元年(1989)

### 第3章 嵯峨野Ⅱ 平成2年(1990)～現在

「切継一熨斗目拾遺 (ルビ：きりつぎ のしめしゅうい)」平成6年(1994)  
「夕顔」平成15年(2003)  
「須磨」平成15年(2003)  
「明石の姫君」平成15年(2003)

## 8 見どころ

### (1) 茨城県初の志村ふくみ回顧展!

滋賀県立近代美術館は、滋賀県出身の作家である志村の作品を多数所蔵している。染織作品は素材の特質上、長期展示が難しく、所蔵館でも初期から近年までの志村ふくみ作品を一堂に展示することはめったにない。しかし本展では会期中に、ほぼすべての作品を入れ替えることにより、滋賀県立近代美術館所蔵の志村ふくみ作品をまとめて展示することが実現した。茨城県内初の回顧展であるだけでなく、前期・後期と鑑賞した場合、展覧会を二度楽しむことが出来るという点でも貴重な機会である。

### (2) 源氏物語シリーズを14点展示!

志村ふくみは日本の文化に対する深い考察に基づき、和歌や古典文学をテーマにした作品も多く手がけ、染織界に新たな地平を切り開いた。例えば古来、『源氏物語』などの文学作品を染織品で表現する場合は、その場面に登場するモチーフ（人物や秋草など）が染や織、刺繍などの技法で表現されてきた。しかし植物染料により絹糸を染める過程を重視し、色彩についての鋭い感覚を持つに至った志村は、文中での草木や衣装などの色の記述等にも注目して作品を解釈し、具体的なモチーフではなく色のグラデーションや抽象的な文様を織り出して、それぞれの場面を表現している。本展ではそうした志村と古典との関わりを象徴するものともいえる『源氏物語』シリーズを前期後期あわせて14点展示する。

### (3) 絹の染糸も多数展示

志村作品の魅力は植物染料で染めた絹糸による豊かな色彩のハーモニーにある。明治時代以降、化学染料が普及すると、近世まで用いられていた植物染料は次第に衰退していった。だが志村は植物染料の魅力に注目し、植物染料で絹糸を染め、それを織って作品を制作してきた。滋賀県立近代美術館では作品だけでなく絹の染め糸も多数所蔵している。本展では作品となる前の絹の染め糸の展示コーナーを設けることで、野山から採取した草木で糸を染めることを「草木の抱く色をいただく」と表現するほど植物を尊ぶ志村の創作姿勢にもせまる。

## 9 会期中のイベント

### (1) オープニングセレモニー 定員に達したため、申込受付を締切りました。

日時：4月6日(土)9:10～9:30(受付8:40～)

会場：2階企画展示室入口前

企画展プレスリリース「志村ふくみ展—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に—」

申込：事前申込 先着 50 名(下の申込方法をご参照下さい)  
申込締切：3 月 25 日(月)必着  
参加特典：一般参加者 50 名は、当日のみ入場料無料

(2) 講演会 1 「志村ふくみの仕事 ～祖母から母へ、そして私～」

講師：志村洋子氏(染織家)  
日時：4 月 6 日(土)13:30～15:00  
会場：講堂  
定員：先着 250 名(参加無料)  
申込：事前申込(下の申込方法をご参照下さい)

(3) 講演会 2 「志村ふくみ—色と言葉の融合」

講師：佐治ゆかり氏(郡山市立美術館長)  
日時：4 月 27 日(土)13:30～15:00  
会場：講堂  
定員：先着 250 名(参加無料)  
申込：事前申込(下の申込方法をご参照下さい)  
申込締切：4 月 20 日(土)必着

(4) 染のワークショップ「色の香り」**定員に達したため、申込受付を締め切りました。**

講師：志村宏氏(染師)・都機(ルビ：つき)工房  
日時：5 月 11 日(土) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30 ③15:00～16:30  
※①では「茜」、②では「梔子(ルビ：くちなし)」, ③では「梅」を染めます  
対象：高校生以上  
会場：講座室  
定員：各回先着 12 名  
申込：事前申込(下の申込方法をご参照下さい)、要企画展チケット  
申込締切：4 月 27 日(土)必着  
材料費：1,500 円

(5) 織のワークショップ「きみも織物職人！」

講師：茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所職員  
日時：5 月 25 日(土)10:30～15:00  
対象：小学 4 年生～中学生(小学生は保護者同伴)  
会場：講座室  
定員：先着 30 名  
申込：事前申込(下の申込方法をご参照下さい)、要企画展チケット(保護者)  
内容：紬織の仕組みを学び、ダンボールを使って簡易織機を作り、コースターなどを制作します。  
申込締切：5 月 14 日(火)必着

【イベント申込方法】※(1)～(5)共通 定員になり次第締切らせていただきます。

- ・来館の場合  
美術館の総合受付にある参加申込書に記入。
- ・往復はがきの場合  
往信用文面に①イベント名(セレモニー・講演会 1・講演会 2・染のワークショップ・織のワークショップのいずれか)、②希望者全員の氏名、③住所、④年齢、⑤電話番号、⑥返信用宛名面にも住所・氏名を記入し、当館「志村ふくみ展イベント係」まで送付。

## 企画展プレスリリース「志村ふくみ展—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に—」

(6) 第1回ミュージアムコンサート♪「春色の輝き～グラスハーブに魅せられて」

日時：5月18日(土)11:00～11:30、14:00～14:30

会場：エントランスホール

定員：各回150名(申込不要、参加無料)

出演：大橋エリ(グラスハーブ)、後藤郁夫(ギター)

(7) 当館学芸員によるギャラリートーク

日時：4月14日(日)14:00～

会場：企画展示室(申込不要、要企画展チケット)

講師：今瀬佐和(当館首席学芸員)

### 10 その他

着物&紬織割引

会期中着物をお召しの方、紬織のショール・かばん・ネクタイなどを身につけている方は団体料金

### 11 問い合わせ先

茨城県近代美術館 〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 666-1

Tel:029-243-5111 Fax:029-243-9992 E-mail:fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

担当学芸員：美術課 今瀬 / 広報担当：企画普及課 河野 / イベント担当：企画普及課 平川

**出品作品図版**

- ※1 このページに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。
- ※2 画像には、作家名（志村ふくみ）・作品名・制作年・所蔵（滋賀県立近代美術館蔵）を必ず入れてください。
- ※3 画像掲載の際には、当館までご一報ください。
- ※4 画像のトリミング、文字のせはお控えください。
- ※5 画像(1)～(3)はチラシ表面に、(4)～(7)はチラシ裏面に掲載されている作品です。

- 1 「聖堂（ルビ：みどう）」平成元年(1989)
- 2 「松風」平成15年(2003)
- 3 「夕顔」平成15年(2003)
- 4 「梶子熨斗目（ルビ：くちなしのしめ）昭和45年(1970)
- 5 「橋姫」平成12年(2000)
- 6 「五節（ルビ：ごせち）(No.1)」昭和58年(1983)
- 7 「須磨」平成15年(2003)



1



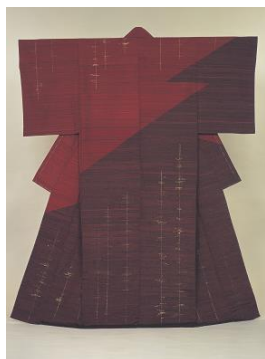
2



3



4



5



6



7